



週寫真

閣内情報編輯部  
二十廿一日・第四十五號・七十之七

軍事郵便

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9



宮内省

赤坂東宮御所に在す皇太子殿下には、十月二十三日日出度く第五回の御誕辰を迎へさせられ、彌々御健やかにむたらせられる。去る五月五日、著袴の儀を擧げさせられたが、今春來は毎週水曜土曜の兩日參殿する女子學習院幼稚園の公達を御相手に幼稚園の課程を御體験遊ばされ、また毎日曜日には宮城に御參内。天皇皇后兩陛下の御許にて御慶賀の時を過させられる御例に承る。



〇〇野戦郵便局に軍事郵便の行囊を満載したトラックが到着した。郵便局からは兵隊が数名とび出し、これも従軍郵便の係員の指圖に従って行囊を降し始めた。どつさりきたぞ。皆喜ぶだらう」と係りの兵隊はここに。



この野戦郵便局は塙頭に近いので、船で先行は苦力に妨がせて埠頭から郵便局まで運ばせる。苦力の列は厭めしい歩哨の銃剣に透らされて、



**大本營陸海軍報道部**  
**通信省**

現地  
 野戦郵便局第一線  
 海軍・川郵便所第一線

差し出た郵便局へ軍事郵便交換局

懐かしい銃後の便りや、心細めたる慰問状、或は勇ましい戦地の便りの媒介として、軍事郵便は事象以来特に國民一般に親しまれてゐる。この軍事郵便物は、どう取扱はれてゐるか。これを内地から差し出す場合を例に取つて見ると、

野戦郵便物の到着を待つ勇士、そしてそれが平に渡つた時、戦地の苦勞を忘れ、戦場に浸る様は到底内地に居て想像出来る程度のもではない。軍事郵便物の取扱者は常に兵士の喜びを心に描いて、夜も重も一生懸命に働いてゐるのであるが、何分にも取扱者が多い多量に上ると、兼に現場ではあらゆる不便を伴ふのでこれを無事に兵隊人に届けるまでの苦勞は並大抵ではない。そして目下のところ郵便物、特に慰問小包は以上のやうな取扱者の苦勞と精進にも拘らずその

# 軍 事 郵 便

宛地が戦地である關係上相當注意することがあるのは止むを得ないことである。郵便物を早く、確實に、完全に送達する爲には軍事郵便を實際に利用する人の協力が欠かれないことが多く、その中主要なるものを挙げて、

一、郵便物の名宛は陸軍部宛にあつては「北支または中、南支、漢口、鄭州、鄭州、鄭州、鄭州」又海軍部宛にあつては「佐世保郵便局、佐世保、佐世保、佐世保」又又は「佐世保郵便局、佐世保、佐世保、佐世保」と明記すること。さうすれば郵便局は協力が異動しても送達される。

二、郵便物の包装は郵便物が現場の海上を渡り、又汽車や自動車に山と積まれて前線に送られ、この間、雨となく濡れられるものであることを考へて、充分堅固に且つ中味の動揺しないやうに工夫すること。

三、郵便物の包装、即ちマツタ、ライター等の耐火性のものを郵便物の中に入れて、又は手紙を小包に封じたりしないことと、但し一般の慰問文のやうな特定の人の宛てないものは差支へない。また濡れし易いもの、或は流出の虞のあるものは送らないやうにすること。等であつて、これ等のことは是非注意して願ふたい。

銃後の眞心をぎつしりと包みこんだ行囊は野戦郵便局に山と積まれた。係りの兵隊は今日も整理に汗を流した。



當地警備の勇士たちも懐しい故郷への便りを野戦郵便局に投函する。日夜送ってくれる父母への便りであらう。



撮影  
 内閣情報部





内閣情報部

「見てくれ、俺の女房と子供だ。大きくなつたなあ。」  
山の向ふには敵がある。だが戦艦に汚れた勇士に二枚の寫眞がすべてを忘れさせ、新しい勇気を渾然と湧きたらせる。

野戦郵便局で行先別に整理された行儀は、トラックで、馬で、廣い大砲の野を山を運搬され、更にこれを迎へて来た兵隊の肩に擔はれて各部隊に運ばれる。部隊までは相當の道程だから飯盒には飯をつめ、敗残兵を警戒して武装も厳重にして行く

「山口一等兵、お前には何が来た」「手紙五通であります」「吉田二等兵は」「女房からで……」「ほら、村山上等兵は」「小包であります。ジャケツらしいであります」「うまくやつたな、俺にも手紙がこんなにきた」「ウアツハツハ、ウアツハツハ」部隊隊員も子供のやうにこゝろ



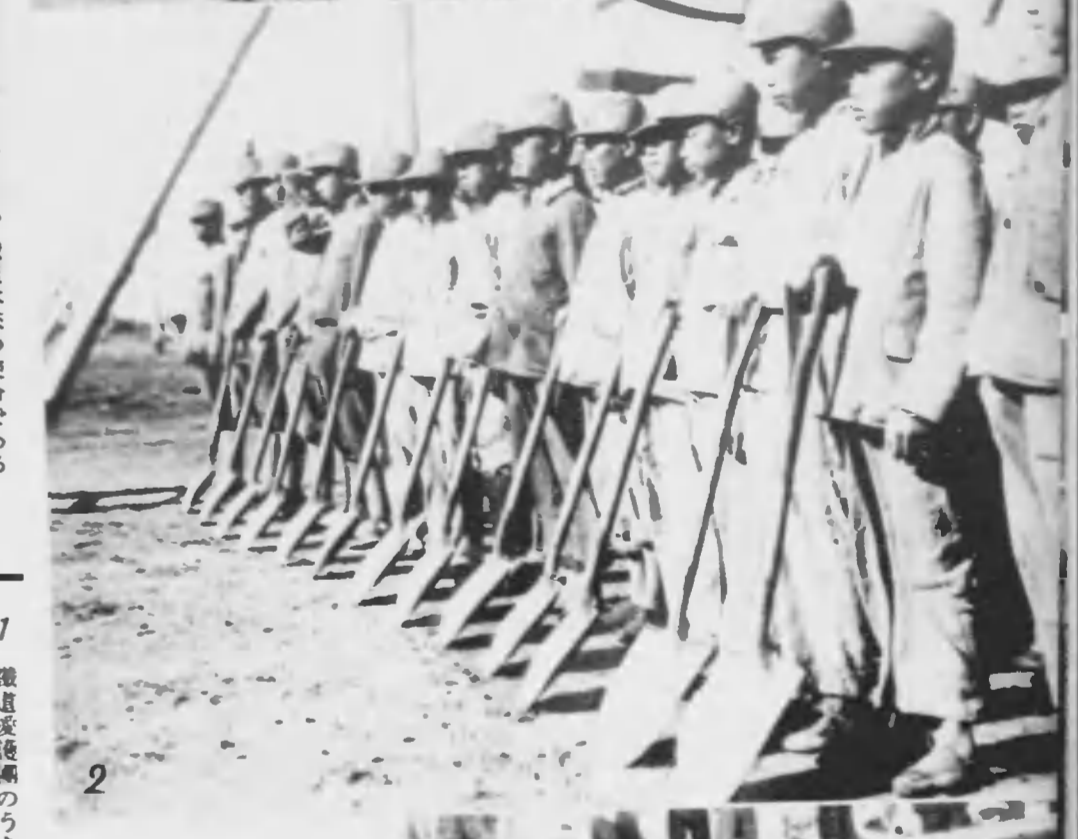
「郵便が来たぞう」  
誰かゝ怒鳴つた聲に勇士たちは一齊に飛び出した。行儀を背負つた影が廣い野づらに次第に近づいて来る。「真鍮！」翌日か待ち無れた故園からの便りだ。

「うわー、子供が生れた。」  
「どれ／＼一寸見せろ。」  
「……千代子今朝目出度男子を分發。母子共に健在に有之、其許の喜びさこそ存せられ候……」





# 満洲 鐵道愛護運動



「鐵道愛護運動」は、満洲國內の鐵道（自動車路、水路をも含む）沿線の住民に愛護精神を鼓吹し、また各種の宣傳工作、産業助成のもとに鐵道と住民の實生活を結びつけ、民衆一體、交通網保全の協力を得ようとする運動である。

その創始は大正二年三月（昭和八年）滿洲鐵道總局（現在の鐵道總局）が創設されて全滿鐵道の經營に當るやちになつた當時、國內は未だ事變による治安紊亂のあとをうけ民心は安定せず、民衆の鐵道にたいする理解は低くその上運輸は麻痺を極めていた。元來滿洲の鐵道は所謂開發拓すためには沿線住民の協力が是非とも必要であつた。かくて日本軍部と滿洲國政府、滿洲の三省協同のもとに鐵道愛護運動は愛護精神をとおしつけるのではない、飽くまでも

その必要性を納得させるのである。鐵道本來の使命である資源開發と農村振興、又は種々な文化施設及び精神作興運動、新生活運動などによつて鐵道の結びゆくところ沿線の住民に知識と經濟力を與へたのである。鐵道愛護運動は人口の約四分の一、地地的には全土にわたり遊移する民衆運動を形成するにいたつた。愛護運動が實地されるにつれては、愛護運動は滿洲の鐵道と何ら異なることなく、進歩的、順調な物資の輸送が行はれるやうになつた。しかるに、第三インテリゲンチヤの影響下の反滿抗日運動、共産黨の煽動に今日といへども寸暇も惜むるやうな情勢を強化するに及ばない。愛護運動は日夜、情報網、警戒網、聯絡網を築き、愛護青少年團は村内を巡回監視する等、朝有るの時は一戸一人傳物を携へて各所に届けつける等、果敢な努力は依然果敢にすすめられてゐる。

- 1 鐵道愛護團のうち十一歳から二十五歳までの、選ばれた愛護青少年團員五萬人は、嚴格な軍隊的訓練のもとに愛護工作の尖鋭部隊だ。吉林の愛護青少年團聯合大演習。
- 2 彼らによつては王道樂土、禮義の國に輝き、腕は開發の意氣になる。白城子愛護青少年團の勤勞奉仕隊。
- 3 洪水の時、ひととほり奉仕隊が駆けつける。復舊は隙の間が上流される。（九路にて）
- 4 匪賊と闘ひ、犠牲で血を流したこの鐵路、天災などにへられたら、われらの生命線。われらの、われらの生命線。「また匪賊が出るんたね」「匪賊はこわいぞ」「大丈夫だ、兄ちゃんたちがゐるよ」「青少年團の組織強化が第一だ」「愛護青少年團の組織強化が第一だ」。
- 5 各愛護村には村民糾察隊が組織され、「鐵路の敵、われらの敵はこいつらだ」と聲を叫べば「オツ、そつたツ」と見物席で娯樂と宣傳を兼ねた村芝居が上流される。（九路にて）

社信通圖洲滿 影撮





かふ救てしうど

を亂混の通交

### 法整調業事通交

省道鐵

朝夕のラッシュ・アワーに何處も満員の車に塞ぎ込まれるやうなことがなくすらくと乗れ、雨の時の乗換にもその度に傘を開かずに済み、乗換の都度にも切符を買換へる煩雜さが省ける。としたら都會の交通機関を利用する人々の生活はどれほど快適になるであらうか。少くとも出勤遅刻の不愉快はなくなる。東京に例をとって見ても市電、バスは路面を走るの目やりに走り、地下鉄や省線電車の高速度交通機関も緩慢に遅延して一見非常に便利なやうであるが、前にあげた一般乗客の不便は益々繁雜になつてゆかうとしてゐる。

然しロンドン、パリ、ベルリン等は何れも過去の亂立競争の經營、亂雜な交通状態から脱却して、今では都市交通の調整を完成し、各交通機関が渾然として一體の運行を維持し、一枚の切符さへあれば一通つかり用が足りるやうになつてゐる。日本でもかういふ交通調整が實現されるとしたら、旅客は一貫したよいサービスを受け、各機関の無駄や重複した施設はなくなつて經營は合理化されてくることになる。要するに、交通調整は、それらの交通機関を適當に按配して各々の特長をのびさせ、同時に國家的の無駄を省いて國民の便益を増さうとするものである。去る八月一日から施行された陸上交通事業調整法は、取敢えず大都市又は特殊地方の汽車、電車、バスを調整しようとするもので、交通事業調整委員会の諮問を経て事業者に必要な事項を通告又は命令するやうになつてゐる。

帝都には四十有餘の交通事業者が數億の資本を投下して、一ケ年に十四億の旅客を輸送してをり、その調整は關係する所が頗る廣く且つ大きい。鐵道、内務省では調整委員会の活動と相俟つて「旅客の便益の増進」「事業の基礎の強化」「國家的無駄の排除」を大目標として萬全を期してゐる。

撮影 鐵道省



電車やバスに乗るとき、待つてゐてもなかなか来なかつたり(右)、来ててもは是非割増したいものだ。この風景



同じ方面に色々な乗物があることは一便利な様であるが、これを大局的にみると随分掛合が多い、もしこれを一つづつに調整するならば、經營上の無駄がなくなり、資本効率を高め、旅客はよりよいサービスを受けるやうになる。



乗換の切符買換は煩雜な手帳一枚の通し切符で乗れるなら大層便利になる。

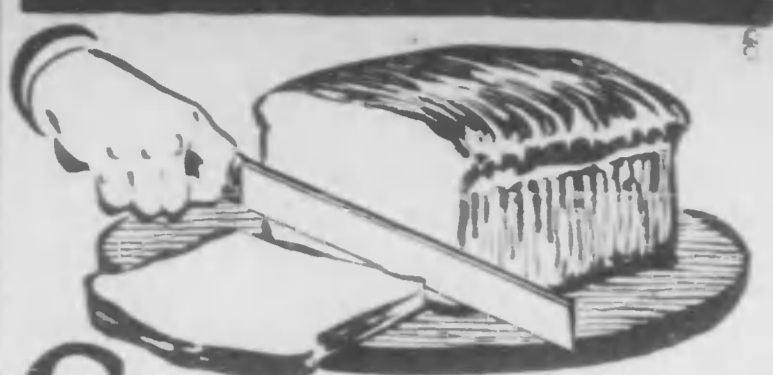


不便な乗換風景。乗換の通路が公道を狭くする。手前側は雨具の置き場。後方は改札口の電線。



煩雜な連絡施設。乗換の度に狭い改札口を通らねばならぬ。先を買換へる改札で切符を買換へる改札とつて煩雜な旅客たどつ





Save a loaf  
a week  
help win  
the war

アメリカの子供たちよ みんなお国のためお皿の上にはなんにも残してはいけません

一週にパン一塊を節約せよそして勝利のために助力せよ



Little AMERICANS  
Do your bit

Leave nothing on your plate

北米世界の戦時 食料管理局の宣用ホラス



エネルギーこそ勝利の道 戦士の燃料たる小麦、豚肉、脂肪、砂糖をこれ



Victory is a  
Question of Stamina  
Send - the Wheat  
Meat Fats Sugar  
the fuel for Fighters

UNITED STATES FOOD ADMINISTRATION

KEEP it COMING

"We must not only feed our Soldiers at the front but the millions of women & children behind our lines"

Gen. John J. Pershing

WASTE NOTHING

UNITED STATES FOOD ADMINISTRATION



食糧問題は戦時日本の直面してゐる最も重要な問題の一つである。國內にあつては食糧を確保して國民の戦後生活の不安をなくし、同時に戦線の將兵に充分の食糧を供給しその活動能力を遺憾なく發揮させるやうにとつねなければならぬ。この二つが結合してうまく運行されなければ、戦時第一義的武器がどれほど立派であつても用兵の意味は半減する。このことは戦時大戦で苦い經驗をなめさせられた各國の例が雄辯に物語つてゐる。歐州大戦時々の戰勝國といへども食糧不足の憂を恐るべき生活不安の結果を防止するために、國民の祖國愛に訴へて、生産の増進、消費の節約、輸入の増加、輸出の防遏等を強力に實行し、更に進んで法令によつてこの目的達成の手段を講じたのであつた。當時の各國の食料政策を簡単に紹介すると、

先づ獨逸は農地と耕作の増進と耕作の増進に關しては土地改良組合の設立を奨励すると共に休耕地の利用、建築用地の農地への利用更に農地の散放等により専ら生産手段の改良増進を促した。次に消費の節約に關しては主として其の主要食糧であるパン用原料に集中された。即ち、戦時勃發の年にはパン用穀物、穀粉及パンを原料に供することを法令を以て禁止し更にパン用穀物歩止りの引上を強制し、又白パンの製造を禁止して黒パンの製造を奨励し石鹼製造のための穀粉及飼料穀物の使用を禁止した。そして、第二年度には帝國分配所を設けて公道量のパン用穀物及穀粉を製菓業者に分配することとし、大部分の食糧品も遂に切符制度によつて分配をした。

「戦争と食糧」

及が管理、輸入の奨励、輸出の防遏、製粉所の管理、製粉歩止りの引上等に制限を行ひ食糧の國內保有量の増加に努めた。然し、自費消費の節約だけではその目的が徹底しないため更に割當食糧配給を強制するに至つた。また食糧局を設けて物品の使用制限、分配の管理、公道価格によらない物品販賣の禁止等を統轄させ更に消費部内の肉、砂糖、パン、製粉等の使用制限、「肉無月」の設定等の方法を講じて國民の協力を求めるとともに法令を以てその徹底化を計るなどの苦心を重ねられた。

Bauer hilf die Städte hungern!



Die Töpfe drunter voll von Goldgewicht - Zieh' Deinen Pflug und ackre sie an's Licht! (Goethe)

又本年度第二回收穫推想高懸内地六、四〇〇萬石、朝鮮二、四〇〇萬石、臺灣九三〇萬石といふ良好の作物が推想され、需給關係では相當に増加すべき消費額を見込みながら、しかも不安はいさゝかもなく米穀統制に關する各種法律の運用と國民自覺の結果により其價格も大なる暴落を見ない昭和十二年七月―十三年十月間（於ケル月別米價（米川正米標準價格右ヨリ））

昭和十二年	七月	三三・八一	八月	三三・八二		
九月	三三・二七	十月	三三・二五	十一月	三三・二五	
十二月	三三・〇〇	昭和十三年	一月	三三・九八		
二月	三三・九八	三月	三三・九八	四月	三三・九八	
五月	三三・〇〇	六月	三三・〇〇	七月	三三・〇〇	
八月	三三・〇〇	九月	三三・〇〇	十月	三三・〇〇	
十一月	三三・〇〇	十二月	三三・〇〇	昭和十三年	一月	三三・〇〇

歐洲大戦時々のドイツのボスター 農民こそ都市の飢餓を救ふのだ 畑もれし實を獲り いだせ(ゲーテ)

昭和十三年 最高價格 三三・九〇  
昭和十三年 最低價格 三三・九〇  
昭和十三年 平均價格 三三・九〇









**英空軍長距離飛行記録を樹立す**

去年ソウイェトの飛行士によつてつくりだされた六千三百六哩の世界航線記録は、十一月下旬、英空軍長距離飛行隊のエドワード・ペネン、七千六百六十二哩無着陸飛行の完成によつて破られた。社長の使用機は三機のイギリス製ツィツカリス・ウェルズリ爆撃機で、この中一機はガソリン不足で豫定地より四〇哩手前に着陸したが、二機は見ごと成功した。三機とも平均時速は一四九哩(二百四十七キ)で、全航程を四十八時間で突破した。

**パリで見えるウインザー公卿兄弟**

英國皇弟グロスター公夫妻は十一月十一日パリでウインザー公と正式御対面を行はれたが、この御会談によつてウインザー公は近く御歸國になる由仄聞する。

**彼の方**



**オランダの慈善切手**

肥後印度の貧しい土人兒童を救へとオランダ本國政府は最近特別記念慈善切手を發行し、全國民に募捐をよびかけた。善募はその記念切手の一冊。

**海の**



**ロンドンの自動車展覧會**

ロンドンのアールズコートでこの程自動車展覧會が開かれたが、寫眞は同展覧會に出品された内部機構がガラスですつかり見えるやうになつてゐる實驗自動車。

**イギリス郵便局員の防空訓練**

近代戦争の恐怖は遂に人類の都を襲へさせた。イギリスのA.R.P.(空を護れ)運動は今や全國民の義務となつてゐる。ロンドンの中央郵便局員も防衛面をかぶつて最近防空訓練に必死となつてゐる。





# 明治紅茶

高雅な味と香り、繪のやうな色調！

新發賣！

純國産代表的優良品

青罐（高級品）黄罐（普及品）



「お下買上毎に明治タリーム」

明治製茶株式会社

### お知らせ

十二月二十八日発行予定の本誌は来年一月四日と合併、新年特大号として大いに内容の充実をはかることになつてゐます。御期待下さい。

### 読者のカメラ

### 地位向上

小春日和の陽のもと、京都市精華山小学校の運動会に、愛国婦人會と大日本國防婦人會の父母さんたちが、飛び入りで、日の丸提灯競争の真最中、灯が消えるぞ、「ワッ！お母さん、おばさん、しつかり」と應援の歓聲が湧く。

長野縣更部郡共和村小学校の生徒たちは燃料節約と同時に自治の精神を體得しようと、村有林から校庭へ、エツヤ、エツヤと材木を運んでは新に、薪炭を作つて冬の用意におこたない。

### 燃料節約

長野市中野町 清水 秀二

### 少年警察官

大阪府中河内郡 浪速 英三

十一月二十一日朝、いかめしいお通りさんの世界にこれはまた可愛らしい少年警察官が街に颯爽と姿を現した。はちまきれる意氣と希望を國防色の制服についで――



# 國際經濟報

No. 980 號九百四第 卷九十第  
行發日八月二十年三十和曆

## ◎世界經濟の一週間

### ★最近號主要目次

- 十一月十七日發行  
總動員法第十一條發問問題  
紡織の機構改革  
ヴェルサイユ條約の死文生文
- 十一月二十四日發行  
米國の景氣政策と財界の趨勢  
新黨か新國民組織か  
昨年における重工業の躍進(工場設計)
- 十二月一日發行

### ★實物見本進呈

(購読希望の方には必ず六週見本進呈します)

#### 獨逸對外貿易躍進 貿易政策

(主筆 山口見司)

貿易政策の新機軸  
世界貿易における獨逸の競争  
東南歐諸國への獨逸の進出  
獨逸政策の成功と前途

明年度一般會計豫算案の検討  
通貨の膨張と物價の暴落  
大獨逸の建設

北支經濟と圓プロク輸出制限問題  
産業報復運動の意義とその前途  
實銀形成の諸原則

十二月八日發行  
獨逸の對外貿易躍進と貿易政策  
通貨の膨張と物價の暴落の分析  
蔣政権の新金融ルート  
△四六倍何れ八十餘頁定價一部廿五  
一ヶ年(前金)十二回五十  
全國書店に配本、書店品切の節は直  
接本社へ申込みを。

申込所  
東京市京橋區藤屋西八ノ九  
法人 同盟通信社  
(電話東京八五五)

#### 寫眞週報(兼轉載)

昭和十三年十二月三十一日印刷發行

編輯者 内閣情報部  
東京市神田區本町四  
印刷者 内閣印刷局  
東京市神田區大寺町

一年(前金)四圓八十錢  
一ヶ年分未滿配達御希望の方は一割十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

内閣印刷局發行課  
電話九ノ内(28)三五九  
東京市京橋區藤屋西八ノ九





胃腸を丈夫にする  
Eビオス錠を召し  
上り下さい  
元気が出て、仕事の  
能率が倍加します

純國産  
Eビオス錠

1100錠  
...1BOX